

明桜中だより

北 区 立 明 桜 中 学 校
校 長 菊 池 修 一
令 和 7 年 度 学 校 だ よ り ・ 特 別 号
令 和 8 年 3 月 3 日 発 行

12月に実施した学校評価アンケート集計結果について



昨年11～12月に保護者及び地域の皆さま、そして生徒に対して実施した「学校評価アンケート」に関する集計結果をご案内いたします。皆様からいただきましたご意見等を踏まえ、今年度の教育活動を振り返り、今後さらに充実した学校運営を進めていく所存です。学校教育は、学校・保護者そして地域の皆様のご理解とご協力無くしては進めることはできません。引き続き、よろしくお願いいたします。

1 目的

自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに保護者、地域住民等の理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

2 アンケートの実施期間

- 【生徒対象】 令和7年12月1日(月)～12月15日(月)の学級活動の中で実施
- 【保護者対象】 令和7年12月1日(月)～12月15日(月)
- 【地域対象】 令和7年12月1日(月)～12月15日(月) ※学校だよりとともに協力依頼を行う

3 実施方法

Googleフォームによる回答を基本とし、依頼通知文に調査項目を記載した紙媒体での提出も可とした。

4 調査項目

※①～⑬の設問は、生徒・保護者・地域の意見が比較できるよう内容を合わせて質問している。

※4件法による選択。「4」よく当てはまる 「3」まあ当てはまる 「2」あまり当てはまらない 「1」ほとんど当てはまらない

※保護者及び地域においては、回答しにくい場合や分からない場合は、「2」または「1」を選択するよう周知している。

- ① 子ども(生徒：私)は学校に行くのを楽しみにしている
- ② 子ども(生徒：私)は学校の授業が分かりやすいと言っている
- ③ 明桜中の生徒(生徒：私)はあいさつをよくしている
- ④ 明桜中の生徒(生徒：私)は交通マナーをよく守れている
- ⑤ 明桜中の生徒(生徒：私)は生徒会活動・学校行事・部活動等に積極的に取り組んでいる
- ⑥ 明桜中の生徒は地域の行事に積極的に活動している
- ⑦ 学校(生徒：私)はきたコン（学習用端末）を授業等で効果的に活用している
- ⑧ 学校(生徒：私)は各教科の評価・評定に関する情報を分かりやすく伝えている
- ⑨ 学校(生徒：私)は子どもの基本的な生活習慣の育成を保護者と連携して実施している
- ⑩ 学校(生徒：私)は子どもの心身の健康についていつでも相談できる体制を構築している
- ⑪ 学校(生徒：私)は保護者が学校参観・授業参観できる機会を多く設けている
- ⑫ 学校(生徒：私)は学校だよりや学年だより、ホームページ等で、子どもの学習・生活のようすを分かりやすく伝えている
- ⑬ 学校(生徒：私)はいじめ問題に対して早期発見・早期対応を図っている

5 回収率

		在籍数 (11/30現在)	回答数	回収率
生徒	全体	546	447	81.9%
	1年	177	149	84.2%
	2年	177	140	79.1%
	3年	192	158	82.3%
保護者	全体	546	363	66.5%
	1年	177	125	70.6%
	2年	177	122	68.9%
	3年	192	116	60.4%
地域			32	

学校評価アンケートの考察と来年度に向けて

4 挨拶は向上、交通マナーに課題

1 令和7年度学校評価の考察概要



圧倒的な支持を得る情報発信

学校だより・HPによる情報発信は保護者・地域から95%以上の肯定的評価（A評価）。



3年生の顕著な成長

昨年度と比較し、3年生の学校生活満足度・挨拶・行事意欲が大幅に向上。



保護者との「認識のギャップ」

ICT活用やいじめ対応において、生徒の実感（高評価）と保護者の認識（低評価）に大きな乖離がある。これを埋めることが次年度の鍵。

+10.4 pt

3年生「挨拶」肯定度（対昨年度比）

自己肯定感の高まりと共に、挨拶への意識が大幅に改善。



地域からの指摘

時々見かけるが、交通マナーが守られておらず危険を感じることもある。

2 教室での「充実」と家庭からの不透明感

【質問7】きたコン(学習用端末)を効果的活用している



生徒は「きたコン」の恩恵を感じているが、その活用場が保護者には見えていない。<ブラックボックス化>

質問2(授業の分かりやすさ)も同様に、生徒(89%)に対して保護者(68%)と乖離が見られる。

令和8年度への課題と重点的取組

① 「ブラックボックス」を開く

学校公開や授業参観日に、きたコンの活用場面を意図的に保護者に見せる機会を増やす。

② 丁寧な説明

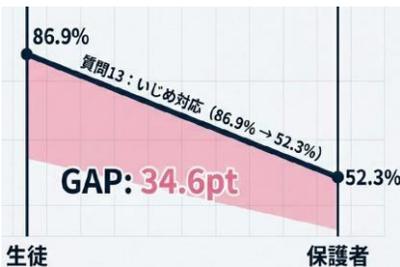
年度初めの保護者会や三者面談などを通じ、評価・評定の仕組みや学習の成果を個別に説明する。

③ 明桜中スタンダード

学習・生活規律のスタンダードを定着させ、基礎学力の底上げを図る。

3 いじめ対応における最大の認識ギャップ

【質問13】学校は、いじめ早期発見・早期対応を図っている



生徒は「先生は対応してくれている」と信頼しているが、保護者は「見えない」ため不安を感じている。

質問10(相談体制)については、生徒・保護者とも85%前後の高評価で一致している。

令和8年度への課題と重点的取組

① 動画による配信

「学校いじめ防止基本方針」等を開設した動画を作成し、保護者の方へ限定配信する。

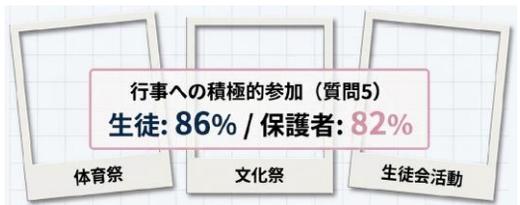
② 変化・気付き強化週間

5月大型連休や長期休業明けに、生徒のサインを見逃さない体制を引き続き強化する。

③ 校内別室指導教室の整備

不登校生徒支援のため、マニュアルの整備を進める。

5 学校生活の思い出が意欲を育む



3年生は学校行事を「中学校生活の大きな思い出」として挙げており、行事が自律心を育てるエンジンになっている。

6 信頼をつなぐ広報活動

保護者満足度 95.9%

生徒満足度 93.9%

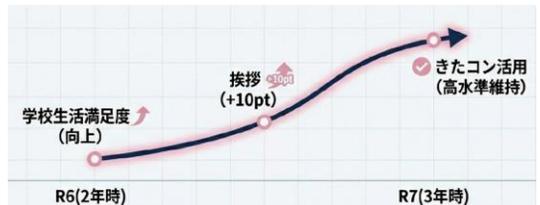
ホームページが定期的に更新され、写真がたくさんあるので、学校の様子がよく分かる。

学校だよりの冒頭の全文を読むのが楽しみです。

「修学旅行」のテロル配信はとてもタイムリーでよかった。

この強力な発信ツールを活用し、「見えない不安」を「見える安心」に変えていきます！！

7 継続的な指導の成果

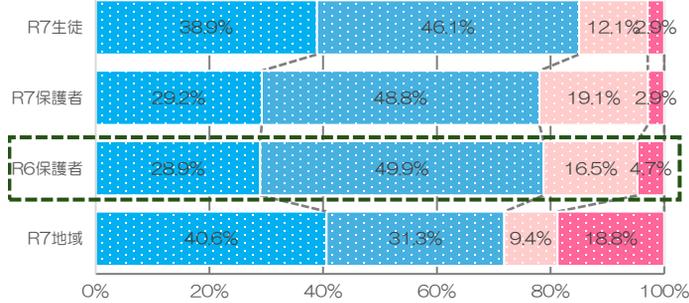


学年が上がるにつれて、肯定的な回答が増加。3年間の継続的な指導が、生徒の「自信」と「学校への愛着」を育てています。

8 令和8年度への展望

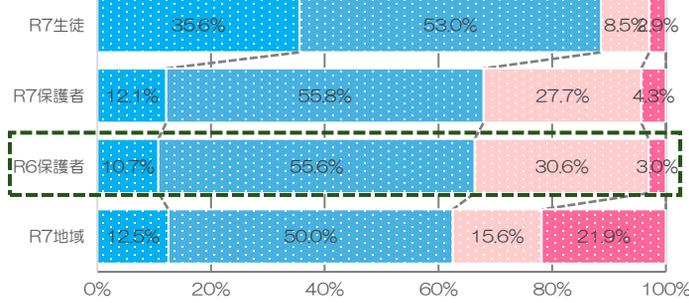


【質問1】生徒は登校することを楽しみにしている



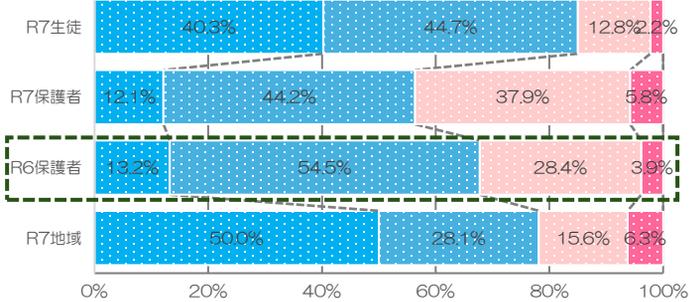
- 生徒及び保護者の2割前後が否定的な回答をしている点については、大いに改善が必要な点と捉えています。
- 生徒が安心して学校生活を送ることができるよう日ごろから個々の生徒を丁寧に観察するとともに必要に応じた声掛けを行ってまいります。
- なお、3年生生徒に関しては昨年度(2年)と比べ肯定的回答が4.0ポイント上昇したことは、今年度の学校生活が充実していたことがうかがえる。

【質問2】教員はわかりやすい授業を行っている



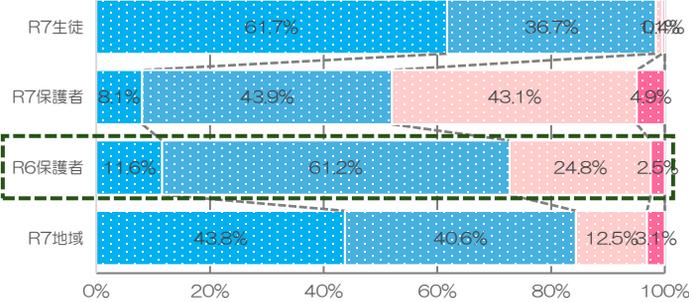
- 8割以上の生徒が肯定的に捉えているが、保護者は7割未満と差があります。
- 生徒の回答は、学年が上がるにつれ肯定的回答が多くなる傾向です。
- 2・3年の生徒・保護者とも昨年度の調査と比較してポイントが上昇しています。今年度の取組からより進んだ実践を次年度進めてまいります。
- 授業等の取組や個々の生徒の成果や課題等に関して年2回ある三者面談等を通して保護者の方に学級担任等から引き続き丁寧に説明してまいります。

【質問3】生徒はあいさつをし、教員は指導を行っている



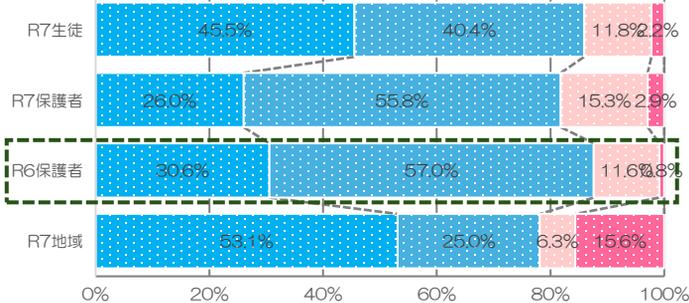
- 今年度の学校経営のスローガンを「明桜から『あいさつ』を広げる」として取組を進めました。3年生は、昨年度より肯定的回答が10ポイント以上増えたことは成果です。
- 校内ですれ違う生徒同士のあいさつの習慣はまだまだ発展途上です。教員の意識改革も含め、次年度の重点取組としてあいさつの指導を継続してまいります。【★保護者の肯定的回答が昨年度から大幅に減少した考察】

【質問4】交通マナー遵守と指導



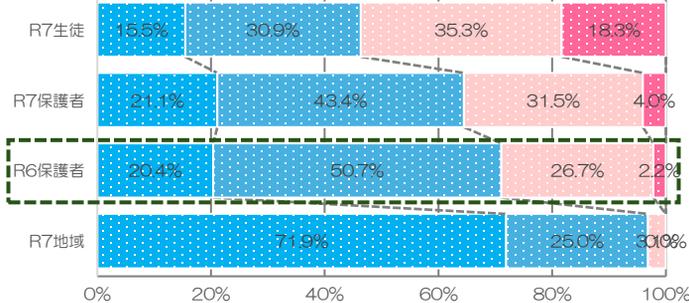
- 生徒は9割を超える肯定的回答であるが、保護者の意見との乖離が大きい。
- 交通事故の被害者にも加害者にもならないよう、引き続き安全指導を行ってまいります。特に、放課後の自転車利用の際には、夜間の無灯火走行やヘルメットの未装着などは、ご家庭でのご指導や地域の皆さまの見守りを引き続きご協力をお願いします。【★保護者の肯定的回答が昨年度から大幅に減少した考察参照】

【質問5】生徒会活動や学校行事等への取り組みと指導



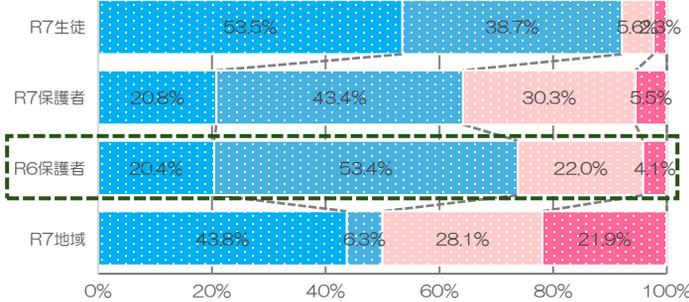
- 学年が上がるにつれ、生徒の肯定的回答が増していることは大きな成果です。3年生との面接練習等でも「体育祭」や「文化祭」を中学校生活の大きな思い出として答えていることからもうかがえます。引き続き、生徒が活躍できる行事を生徒主体で実施できるよう働き掛けてまいります。
- 保護者の8割以上の肯定的回答からも、行事での生徒の活躍の様子が好意的に見られていることが分かります。

【質問6】地域行事への参加と働きかけ



- 生徒の回答は、否定的回答の割合が5割を超えているが、地域の回答では9割を超える肯定的回答をいただき好意的に見ていただいています。
- 今後も、生徒の自尊感情・自己有用感を高めていくひとつの取組として「カップまつり」や「豊島大運動会」などの地域行事に積極的に参加するよう奨励して「地域の学校」としての役割を果たすとともに社会貢献の意識を醸成に努めてまいります。

【質問7】きたコンを効果的に活用している



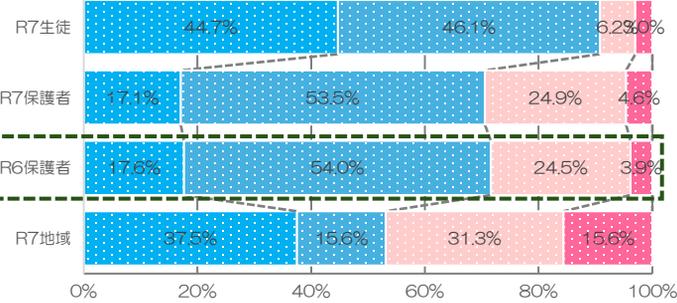
- 生徒の肯定的回答が90%前後であるのに対して、保護者の肯定的回答は6割台にとどまっています。保護者や地域の皆様に対して、生徒が「きたコン」を効果的に活用した場面を積極的に発信してまいります。【★保護者の肯定的回答が昨年度から大幅に減少した考察参照】

★「R6保護者」の項目は、昨年度(令和6年度)の同設問の集計結果です。「R7保護者」と母集団が異なるため単純比較できませんが、傾向は確認することができかと思ます。

【凡例】 肯定的回答とは：「4」と「3」の合計
否定的回答とは：「2」と「1」の合計

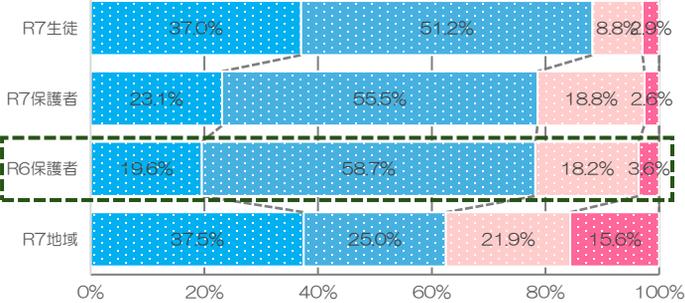


【質問8】 教員による評価・評定に関する情報伝達



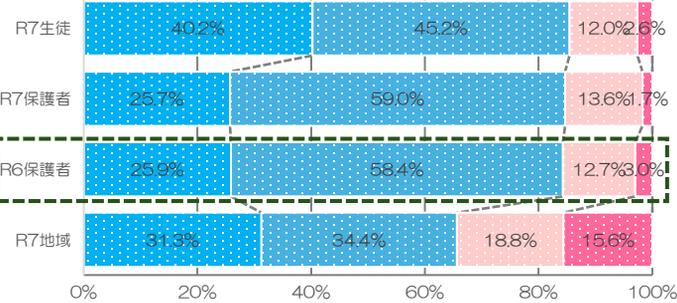
- 各教科の授業や学級活動等において、生徒には丁寧に説明を行っており9割を超える生徒は肯定的に回答しています。
- その反面、保護者にはその情報が生徒から十分に伝わっていないことが分かります。年度初めの丁寧な情報発信及び年2回の三者面談等で、学校の取組を確実に保護者へ提供してまいります。

【質問9】 生活習慣に関する教員と保護者の連携



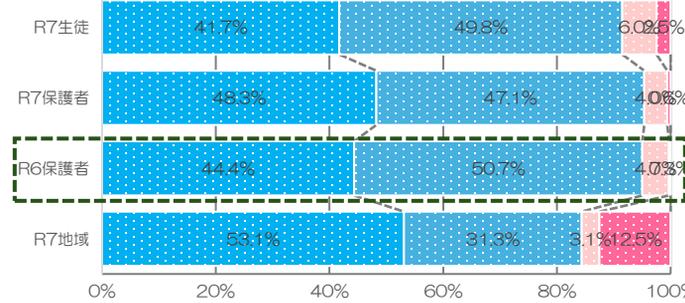
- 生徒・保護者とも8割前後が肯定的に回答しているものの、今後も丁寧に生徒の状況を観察し、個々の生徒に応じた保護者との連携を図ってまいります。
- 学校全体や学年等の状況に応じた課題等について、学校だよりや学年だよりなどで発信し、保護者の方にもご理解・ご協力をいただき、生徒の健全育成に努めていきます。

【質問10】 心身の健康についての相談体制



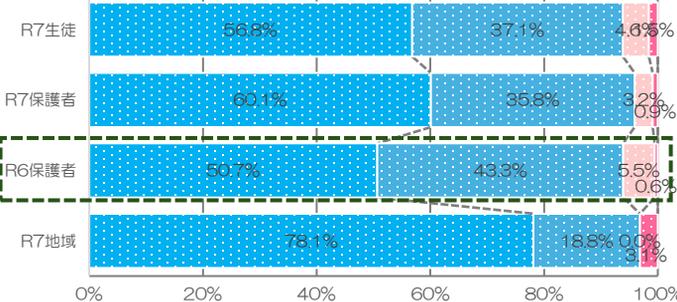
- 昨年度の調査と比較して、生徒・保護者とも肯定的回答のポイントが上昇しました。今年度、特別支援コーディネーターを養護教諭に指名したことで生徒の細かなサインを養護教諭の立場から各学年に助言できました。
- 都スクールカウンセラーが3名配置されたことも、生徒及び保護者に安心感を与える一因になったと推測します。
- 学校全体や学年等の状況に応じた課題を、学校だよりなどで発信し、保護者の方にご理解・ご協力をいただき、生徒の健全育成に努めていきます。

【質問11】 学校の保護者参観の機会



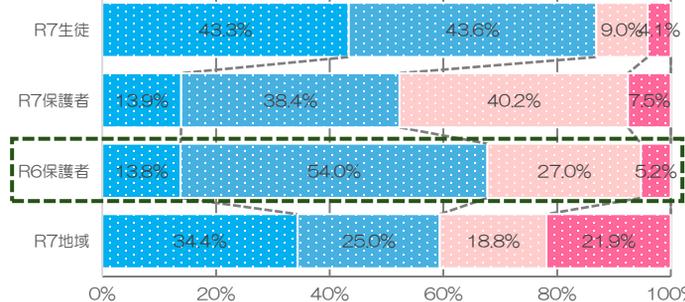
- 9割を超える保護者の方が肯定的に捉えており、今年度の取組を大きく評価していただいています。さらに、幅広い方に学校の様子を見ていただけるよう、地域の皆様へ学校公開の状況をPRしてまいります。
- 令和8年度も、今年度同程度の行事や授業公開を行ってまいります。5月及び12月上旬の土曜日には、午前学校公開、午後保護者会(三者面談)を設定します。また、年2回平日の学校公開期間を設定し、平日の方が学校に来やすい保護者の方にも参観の機会を設定します。

【質問12】 学習・生活の様子の分かりやすさ(お便り・HP)



- 9割以上の保護者、生徒が肯定的に回答していることは大きく評価していただいていると捉えることができます。今後も開かれた学校づくりの推進のため、学校ホームページをはじめとする広報を積極的に行ってまいります。
- 保護者へのtetoruによる電子データの配信と合わせ内容(学校だより、学年だより、給食だよりなど)によっては印刷物配布のハイブリットも進めます。

【質問13】 いじめ早期発見・早期対応



- 生徒の肯定的意見が8割を超えていることは評価できます。
 - 学校でのいじめ防止の取組が十分に浸透していないことが、保護者の肯定的回答が低い結果から分かります。長期休業明け等の「変化付き週間」及び「学校いじめ防止基本方針」、令和7年6月に改訂された「東京都いじめ総合対策(第3次)」の内容等保護者向けに分かりやすく解説した動画を作成し、限定公開等で動画配信する方策を実施します。
- 【★保護者の肯定的回答が昨年度から大幅に減少した考察参照】

生徒・保護者等のアンケート結果の詳細(学年別)などは、学校ホームページ以下の二次元コードから確認いただけます。

令和7年度学校評価の結果

令和7年11~12月に保護者及び地域の皆さま、そして生徒に対して実施した「学校評価アンケート」に関する集計を踏まえ、令和6年度の教育活動を振り返り、今後さらに充実した学校運営を進めていく所存です。学校教育は、ご理解とご協力無くしては進めることはできません。引き続き、よろしくお願いたします。

なお、令和7年7月に保護者の方を対象に「第1回学校評価アンケート」も実施

[令和7年度学校評価アンケート【生徒・学年別】 \(PDF 176.6KB\)](#)
[令和7年度学校評価アンケート【保護者・学年別】 \(PDF 156.1KB\)](#)
[令和7年度学校評価アンケート【地域】 \(PDF 213.8KB\)](#)

★保護者の肯定的回答が昨年度から大幅に減少した考察

保護者アンケートの選択肢に「わからない」、「どちらともいえない」を入れてしまうとそこに集中してしまうことが推測されるため、回答に窮する場合は「2:あまり当てはまらない」または「1:ほとんど当てはまらない」を選択するよう強く呼びかけたため、保護者が判断しにくい質問項目は、昨年度から大幅に減少したと考察します。次年度の調査方法について改善することも視野に入ります。

【地域の皆様へ】

回答が難しい場合や分からない場合は、「2」あるいは「1」を選択するようお願いしました。特に、【質問2】「学校の授業が分かりやすい」、【質問7】「きたコン(学習用端末)を授業等で効果的に活用している」、【質問13】「いじめ問題に対して早期発見・早期対応を図っている」などの設問に対しては、詳しい状況が分からないため、否定的回答が多かったと推測されます。今後とも、学校の情報を学校ホームページなどで発信していくとともに学校行事や授業の様子を広く公開していくように努めてまいります。